

ぱおぱお ニュース

< 病気の豆知識 >

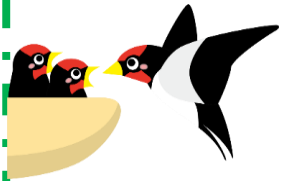
今月は… 『発熱』です

前もって知っている
慌てずにすみます。



< 子どもはよく熱を出す >

子どもの発熱はほとんど風邪などの感染症によるものです。熱によって脳障害が起こるのではないかと心配される方も多いのですが、高熱だけで脳が障害を受けることはありません。むしろ発熱することにより、ウイルスなどの増殖がおさえられる場合もあり、正常な感染防御反応の一つと考えられています。



< ホームケアのポイント >

発熱時は汗をかいたりして、体の水分が多く失われています。脱水になりやすいので、意識して水分をとるようにしましょう。

< こんな時には受診を！ >

- ・生後3ヶ月未満の発熱
- ・食事や水分がとれない
- ・尿の回数が一日3回未満
- ・熱以外の重い症状がある (けいれん・嘔吐・顔面蒼白・激しい下痢・呼吸困難・意識障害など)
- ・3日以上発熱が続く
- ・ぐったりしている



< 突発性発疹 >



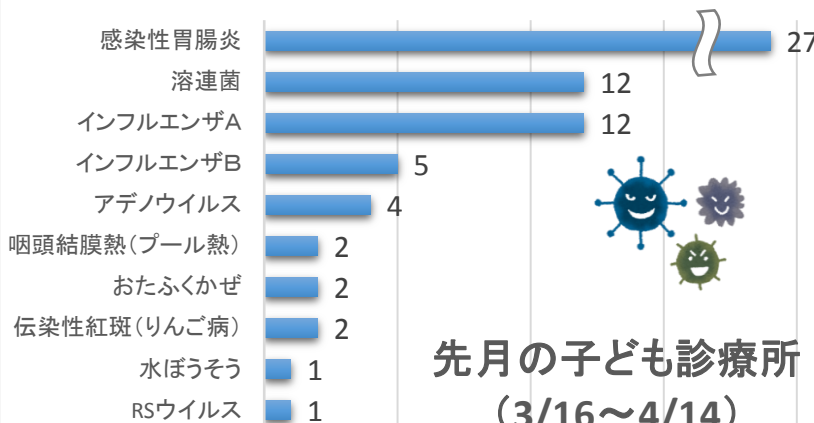
生まれてしばらくは風邪らしい風邪を引かなかった赤ちゃんが、突然40度近い高熱を出すことがあります。ほとんどの赤ちゃんが一度はかかる感染症ですが、気づかないうちに終わっていたということも多いようです。

急な発熱が3~4日続きますが、咳や鼻水はなく、高熱のわりに元気であることも特徴の一つです。



解熱後発疹が現れ、2~3日くらいで次第に引いて跡が残ることはありません。多くの赤ちゃんは、発疹が出始めると不快な症状への違和感でか、機嫌が悪くなる傾向にあるようです。発疹の引きとともに機嫌も治っていることがほとんどです。

< 感染症情報 >



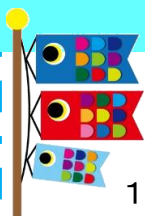
先月の子ども診療所
(3/16~4/14)

子ども診療所では…

- ・インフルエンザが終息してくると、今度は胃腸炎のお子さんが増えてきています。
- ・溶連菌のお子さんも増えていきます。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・アデノウイルス感染で、目やにや胃腸炎症状のおさんが目立ちました。
- ・4月に入ってからも、インフルエンザのおさんがいました。



こどもの日 5月5日は端午の節句「こどもの日」

1948年に、こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝をするお休みの日と決められてから、端午の節句をこどもの日と呼ぶようになったそうです。

★ かしわ餅やちまきを食べるのはどうして？ ★

柏という木は古い葉があるうちに新しい葉が出てきます。
昔の人は柏の葉で巻いたお餅を食べて子孫繁栄を願っていました。



★ 菖蒲湯に入るのはどうして？ ★

菖蒲は古くから薬草として用いられ、疲れをとったり、打ち身に効くとされまた芳香で邪気を払うとも言われています。

こどもの日には我が子への成長に願いを込めて、
親子で一緒に楽しいひとときを過ごされてはいかがでしょうか？



5月13日(第2日曜)は「母の日」

定番のカーネーションも近年はカラフルですね。
それぞれの花言葉をご紹介します。

お母さん
ありがとう!



- ・赤 『母の愛、愛を信じる、熱烈な愛』
- ・紫 『誇り、気品』
- ・ピンク 『感謝、上品・気品、温かい心、美しい仕草』
- ・青 『永遠の幸福』

最近ではカーネーション以外にもバラやあじさい、ゆりの花なども人気なようですよ。

<スマイルコーナー> 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介しますね。



♡ 優しい一言 ♡



風邪で入室した4歳のRちゃんとNちゃん。

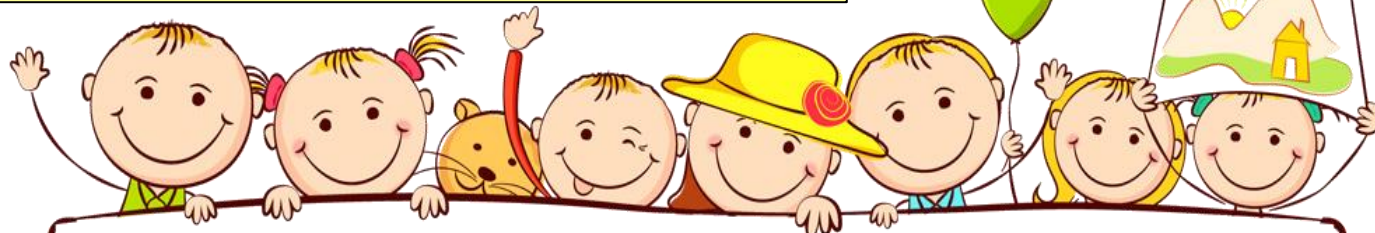
二人とも熱はなく、椅子に座って塗り絵をしていると... Rちゃんが「ハクション！」とくしゃみ。保育士が「大丈夫？」と声をかけると「うん、大丈夫！」と笑顔で答えてくれました。

そしてその数分後...今度はNちゃんが「ハクション！」とくしゃみをする、Rちゃんが心配そうに「大丈夫？」と優しく声をかけてあげていました。

お友達を気にかける一言に、心も優しい気持ちになりました。(M)



保育室のご利用には 事前の登録が必要です!



新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおばお(月~金 8:30~17:30)

TEL 042-521-2777

